



## 「未来へ羽ばたく」翔洋学園高等学校卒業式

**日立式場** 3月6日(水) 翔洋学園高等学校の日立学習センター、水戸学習センター、いわき学習センター、ネットキャンパスの4センター合同の卒業式が、日立市幸町の日立シビックセンターで行われました。150名の卒業生に中村昌平校長より一人ひとり証書が手渡されました。

卒業生代表あいさつでは、日立本校、水戸学習センター、いわき学習センターの各代表が挨拶を述べました。いわき学習センター代表の吉田駿さんは、高校時代で幅広く付き合える友人ができたこと、今年度のウェルカムセレモニーで司会を担当し大きな自信につながったことなどについて述べ、誇りをもって羽ばたいていきたいと締めくくりました。



**つくば式場** 3月8日(金) つくば市にあるノバホールでは、土浦学習センター、柏学習センター、千葉学習センター、古河学習センター、下館学習センター、そしてネットキャンパス、6センター合同の卒業証書授与式が執り行われました。保護者や教員が見守る中、この日314名の生徒が翔洋学園高等学校を巣立ちました。

卒業生代表あいさつで舞台上上がった柏学習センターの廣部侑希さんは、校長が卒業生に送った「自分を信じ勇気をもって人生を切り拓いてほしい」というメッセージに答えるかのように、「翔洋学園に来て自信を持って今の道を切り拓くことができた。立派な社会人になって成長した姿を見せたい」と、今の心境を語りました。



所属センターも在籍期間も一人ひとり異なりますが、この翔洋学園の卒業式を新たな出発地点として、卒業生の皆さんが未来に向かって力強く羽ばたき続けて欲しいと、職員一同心より願っております。

**会津式場** 3月5日(火) 会津若松ワシントンホテルにて行われた会津式場の卒業証書授与式は前日の雨がすっかり上がり、晴天に恵まれました。50名の卒業生と66名の保護者の出席の下、厳粛な雰囲気の中、式が執り行われました。

入学以来の仲よしコンビである本橋琴実さんと長谷川栞さんが初の2人代表で卒業生代表答辞に臨み、高校生活の思い出を振り返り、支えてくれた人々への感謝の気持ちを述べました。美容学校とのダブルスクールで頑張った本橋さんと熱心に質問に来て勉強していた姿が印象に残っている長谷川さんの答辞に教職員一同も胸が熱くなりました。最後に在校生が作成してくれたスライドショーを鑑賞し、担任への花束贈呈のサプライズもあり、卒業生は皆華やかな顔で巣立っていきました。



**山形式場** 3月12日(火) 山形市レッツ学院ビルにて行われた山形式場の卒業証書授与式は、雪もすっかり解け、春めいた日差しの中執り行われ、13名の卒業生が保護者・職員が見守る中、思い出の詰まった学び舎を巣立っていきました。



在校生代表送辞では飯野実咲さんが「先輩方が優しく楽しく接して下さり、学校生活を安心して送ることができた。」と感謝の言葉を述べ、卒業生代表答辞の村岡不動さんは「前籍校で人間関係の悩みを抱えて不安な気持ちで転校してきたけれど、翔洋学園高等学校での時間は本当に楽しく、多くの行事に参加し、かけがえのない時間を過ごすことができた。」と語ってくれました。

式終了後、スライドショーを鑑賞し、たくさんの思い出の時を振り返ると、卒業生は笑顔のをぞかせていました。職員一同、皆さんの未来が素晴らしいものとなるように、心から願っています。

## 校長挨拶

### 創立20周年を迎えて

校長 中村昌平

888名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新たな世界への旅立ちです。これからは、自分のことは自身で判断し、見極めていかなければなりません。<sup>かんなんしんく</sup> 艱難辛苦を乗り越えて、充実したすばらしい人生であって欲しいと願っています。

さて、本校は今年創立20周年を迎えます。その間、約13,000名の卒業生が巣立ちました。創立時には生徒数500名ほどでしたが、「自由・自主・自立」の校訓の下、「面倒見の良い学校をつくりましょう」を合言葉に教職員一同邁進してまいりました。

「教育は人なり、教育は信頼なり」そこに学校の繁栄があると私は考えています。生徒一人ひとりに寄り添い、面倒見の良い先生がいれば、たくましく未来を担うすばらしい生徒が誕生すると確信しています。そして「信頼される学校」が生まれると思います。20年間を省みて、翔洋学園を誇れるのは、「面倒見の良い先生集団」であることです。そして今、2,627名の生徒が活躍する学校に伸展することができました。この伸展は積み重ねてきた教育活動が、生徒・保護者並びに中・高等学校さらに地域社会の皆さんに受け入れられた結果であり、ご支援、ご信頼をいただきました皆様に厚く御礼申し上げる次第です。

先生方には「面倒見の良さ」を、生徒には「自分育て（個性の伸長）」を促し、一人ひとりの「志望の実現」を支援してきました。卒業生や在校生には、ゴルフ、登山競技、テニス、サッカー等で世界に羽ばたき、クラシックギターリスト、俳優、お笑い、歌手、モデル等でテレビを賑わせる活躍をしている者もいます。又、全国生徒生活体験発表会では県代表として出場し、厚生労働大臣賞、NHK会長賞を受賞、全国定通体育大会においても毎年30余名が県代表として活躍し、「自分育て」をしている学校に成長することができました。なお、「志望の実現」として、進学も難関大学を始め年々進学者も全体の60%台に増え、就職も20%台と飛躍しています。

ここに創立20周年を機に、時代の変化を十分見極め、創立30周年に向かって抜本的な改革等により、さらなる期待に応えられる翔洋学園の構築を求めて教職員一同邁進していく覚悟しておりますので、今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



## 『「明日力」の育成』～生活体験発表大会～教務主任より

中学校、前籍高校と不登校になってしまった生徒が本校に転入学後、自分のペースで徐々に学校に通えるようになり、将来は「フリースクールで働きたい」という夢を見つけることができるようになりました。彼女は昨年11月に全国定時制通信制生徒生活体験発表大会の舞台上、辛かった過去の実体験や将来への前向きな思いを多くの人たちの前で語り、人々に大きな共感と励ましを与えたと評価され、上位2番目に当たる厚生労働大臣賞という素晴らしい賞を受賞しました。

本校では、生活体験発表大会への参加を大きな教育の機会と捉え、平成18年から毎年校内発表会を実施し、これまで各学習センターからたくさんの生徒たちが参加してきました。校内から選ばれた上位2名が茨城県大会に出場し、更に県大会で最優秀に選ばれた1名のみが全国大会への出場権が与えられます。これまでこの大会に出場してきた生徒一人ひとりが、自らの学校生活や実生活を振り返り、そして明るい未来を思い描き、それを多くの人たちに語りかけ、聴く者に勇気と励ましを与えてきました。県大会や全国大会にはつながりなくとも、生徒一人ひとりが歩んできた青年期はどれも貴重なものであったことは言うまでもありません。本校では、『「明日力」の育成』をキーワードに、一人ひとりの個性を最大限に生かし、自分の力で将来を切り開き、強く生きていける人材を育てるため、様々な教育活動を日々実践しております。様々な悩みや課題を抱えた生徒たちが、それらを乗り越え、強く逞しく世に翔けていってもらうために、学校としても更なる発展を目指し、教育活動の充実にも努めていきたいと思っております。



# 翔洋学園の1年間の活動報告

## 1. 本校の教育理念 一人ひとりの未来を創造する力「明日力（あすりょく）」の育成

本校では自立した社会人として積極的に社会と関わることのできる人材の育成を目指し、教育活動を展開しております。

## 2. 課程・学科・在籍者数

課程	通信制（単位制）	学科	普通科	在籍者数（3/29 現在）	2,627 人
----	----------	----	-----	---------------	---------

## 3. 教職員（3/29 現在）

理事長・校長・教頭・教務主任・養護教諭・スクールカウンセラー 他教育職員 96 名

事務局長・事務長・広報企画室長 他広報・事務職員 8 名

個性豊かな教職員が「チーム翔洋」として一丸となって生徒の指導・支援にあたっています。

## 4. 主な行事

【4月】 ウェルカムセレモニー	【10月】 定時制通信制生徒生活体験発表大会（県大会）
【6月】 創立記念日	茨城県定時制通信制秋季体育大会
定時制通信制体育大会茨城県大会	【11月】 定時制通信制生徒生活体験発表大会（全国大会）
【7月】 定時制通信制生徒生活体験発表大会（校内）	【1月】 後期試験
【8月】 前期試験，定時制通信制体育大会（全国大会）	【3月】 卒業証書授与式
【9月】 前期卒業証書授与式，修学旅行（沖縄）	

生徒の興味・関心を引き出し、体験的な活動を通して「明日力」の育成を図れるよう支援しています。

## 5. 主な活動の結果 紙面の都合上、一部しか掲載しておりませんが、各分野で活躍した生徒が多数おります。また、本校では「明日力」を育成する機会と捉え、毎年積極的に定時制通信制体育大会や定時制通信制生徒生活体験発表大会への参加を促し、生徒一人ひとり自主性を伸ばし、夢や目標を見つけ、個々の個性や能力を発揮しています。

定時制通信制体育大会	茨城県予選		茨城県秋季大会	
ソフトテニス	男子・個人	3位	男子・ペア	優勝・準優勝
バドミントン	男子・シングルス	優勝・準優勝	男子・シングルス	優勝
	男子・ダブルス	優勝		
	女子・シングルス	3位	女子・シングルス	優勝
卓球	男子・団体	準優勝	男子・個人	3位
	女子・団体	優勝		
柔道	男子・個人	準優勝		

### 定時制通信制体育大会以外

テニス	インターハイ出場	シングルス	
	関東高等学校茨城県予選	シングルス	3位
	全日本ジュニアテニス選手権		優勝
	ジーエス・ユアサ国際女子オープン	シングルス	優勝
	世界スーパージュニア選手権	ダブルス	優勝・準優勝
ボルタリング	ボルタリングユース日本選手権大会ジュニア		3位
	スポーツクライミング世界ユース選抜大会		5位
ゴルフ	毎日杯アマチュアゴルフ選手権茨城県予選		優勝

定時制通信制生徒生活体験発表大会	茨城県大会	茨城県知事賞及び茨城県定通振興会会長賞
	全国大会	厚生労働大臣賞
茨城県高等学校総合文化祭 美術展覧会	書道の部	県北地区代表作品

## 図書コーナー ～読書の効果～

読書の効果をご存知でしょうか。読書が好きな方もそうでない方も、どのような効果があるのかを認識しておく、本を読んだときに得られるものが違ってきます。今回は、本を読んで得られる効果をいくつかご紹介します。

### ■新しい知識が身につく

本は知識の源です。著者が何年もかけて身につけた知識が一冊に詰まっています。読書をする、今まで知らなかったことを教訓とともに学ぶことができ、経験していないことを疑似体験することができます。読書で得られた驚きや感動は、自分の言葉となり知識となります。

### ■語彙力が向上する

読書をする、語彙力が身につきます。語彙力というのは、単語の意味や使い方を理解していることを言います。社会生活では、自分の考えを相手に正確に解りやすく伝えることが必要になります。本に書かれた様々な語彙や言い回しを学ぶことで、表現の幅が広がります。

### ■記憶力・情報処理力が向上する

本の内容を理解するためには、脳の中で情報を記憶し、整理しながら読み進める必要があります。読書をする、活字から得た情報により脳の働きが活性化し、新たな神経回路が構築され、記憶力が向上します。また、情報処理力が向上し、情報の伝達や取捨選択が速くなります。

### ■様々な価値観に触れ、多角的な思考が見につく

読書をする、様々な価値観に触れることができます。自分とは違った考え方・生き方を知ることで、心に刺激が与えられ、人生に潤いが出ます。また、異文化への理解が深まり、共感する能力が育つことで、自分の意見と他者の意見とを客観的に比較し、物事を多角的に考えられるようになり、本質を見極めるスキルが磨かれます。



### ■集中力がつく

読書をする、無意識のうちに集中力が高まり、勉強や仕事の効率アップに役立ちます。現在では、朝読書の時間を設けている学校も数多くあります。1日に10分間でもよいので、テレビやスマートフォンを消して、読書の習慣を始めてみてはいかがでしょうか。

## 翔洋の軌跡 ～20年のあゆみを振り返って～

本コーナーでは、来年度開校20年目を迎える翔洋学園高等学校を支える様々な人からのインタビューを通して、学校のこれまでのあゆみをご紹介します。今回ご紹介するのは、教頭の高野佳規先生です。



### —この20年間で生徒に対しての想いや求めるものに変化はありますか？—

当時は「高校卒業」だけを目標として入学してきた生徒が多かったように思いますが、今は通信制高校の認知度が高まり、「自らの生活スタイルに合った学校生活を送りたい」、また「夢実現のために選択した」という生徒が増えたと感じています。

確かにこの20年で生徒層が変化したことは感じていますが、私自身は勤務した当時から変わらず「本校の生活の中で心が成長して欲しい」という思いを持っています。一人ひとりの生徒が本校での生活で他者を思いやる気持ちを育み、社会の中で生きていける逞しい心を抱いて欲しいと思っています。

すぐに理解を求めず、長い目で見て、将来、「あの時、あの先生がかけてくれた一言はこういうことか」と気付いてもらえるような言葉をかけていきたいと心がけています。

### —これから翔洋学園で学び卒業していく生徒に対してメッセージをいただけますか？—

高校生活はあっという間に過ぎてしまいます。「高校時代にしかできないこと」、「高校生だからできること」にチャレンジし、本校での学校生活において一つでも多く、いい思い出を刻み、「翔洋学園に入学して良かった」と満足して卒業して欲しいです。また、大小関わらず常に夢を抱き、その夢を実現するという強い志（気持ち）をもって生活して欲しいです。